機1

第９回PhDリクルートフォーラム開催報告

2024年 9月１８日（水）PhDリクルート室

真の強さを学ぶ。
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

開　催　日　2024年9月9日（月）10:15~17:00

開 催 場 所　アートホテル新潟駅前

参加博士学生　24名

新潟大学　20名

富山大学　4名

参 加 企 業　13社

キッコーマン　三栄源エフ・エフ・アイ　産業技術総合研究所

サントリーホールディングス　住友金属鉱山　TDSE

デンカ　トクヤマ　ナミックス　日本総合研究所

日本入試センター　みずほ第一フィナンシャルテクノロジー

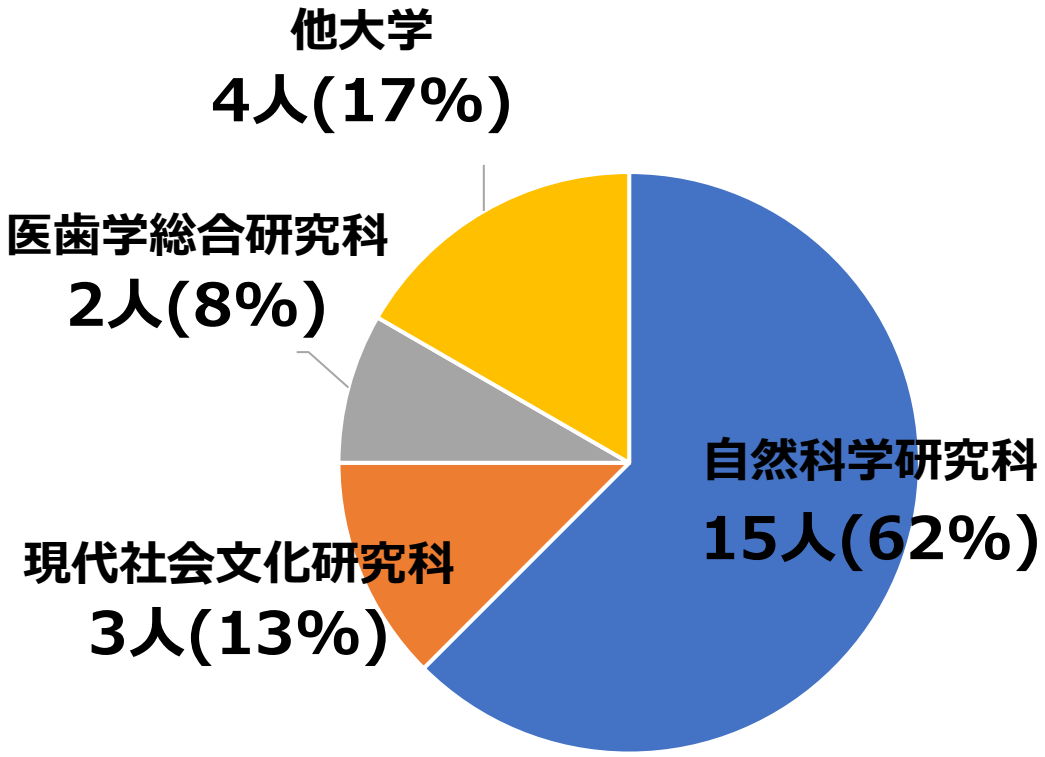
三菱ガス化学　（敬称略）

アンケート回答者数 博士学生24名、企業25名

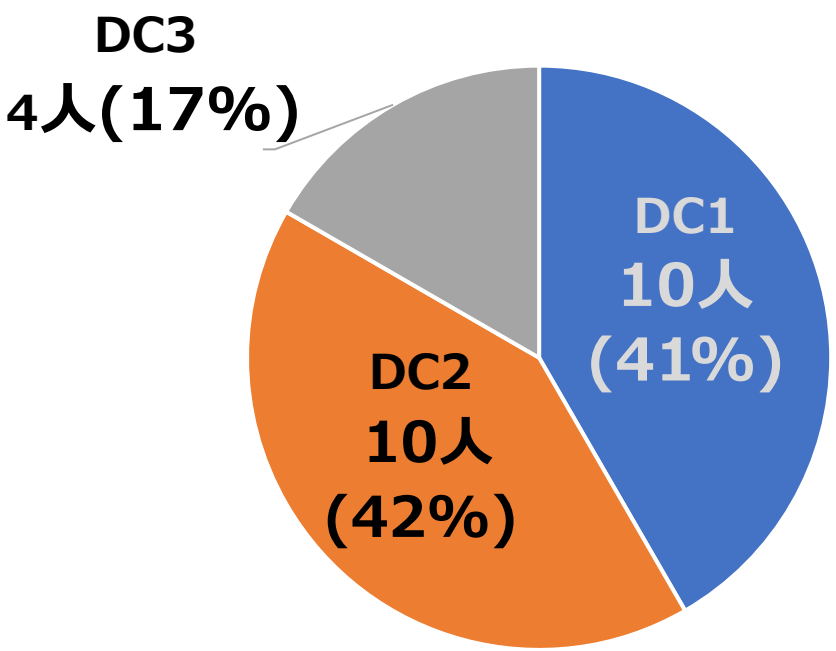
（参加者数：博士学生24名、企業32名（13社））

【博士人材】属性

■所属

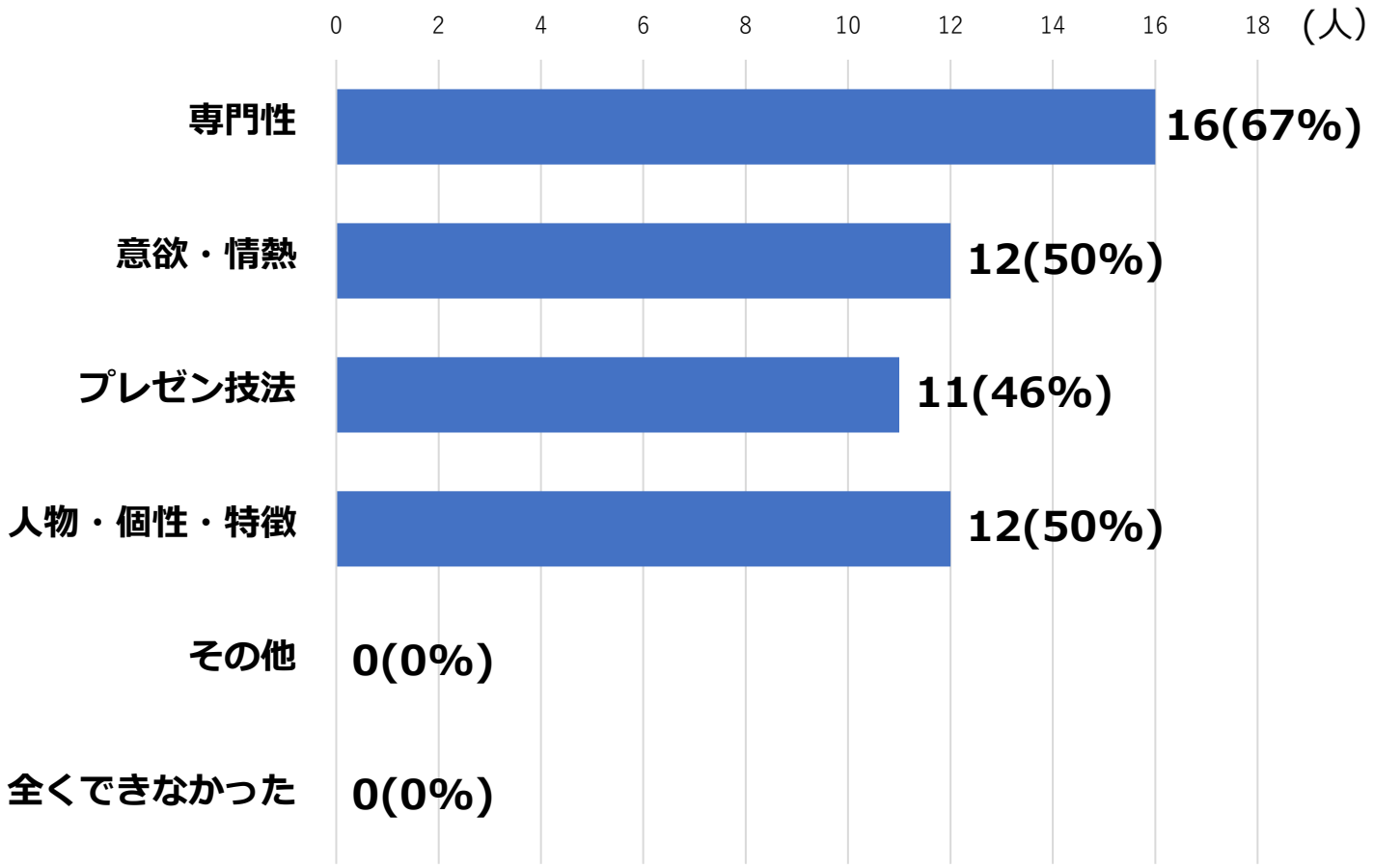

他大学
4人(17%)
医歯学総合研究科
2人(8%)
自然科学研究科
15人(62%)
現代社会文化研究科
3人(13%)

■学年


DC3
4人(17%)
DC1
10人
(41%)
DC2
10人
(42%)

【博士人材】
ポスター発表でアピールできた部分はどこですか？（複数回答可）

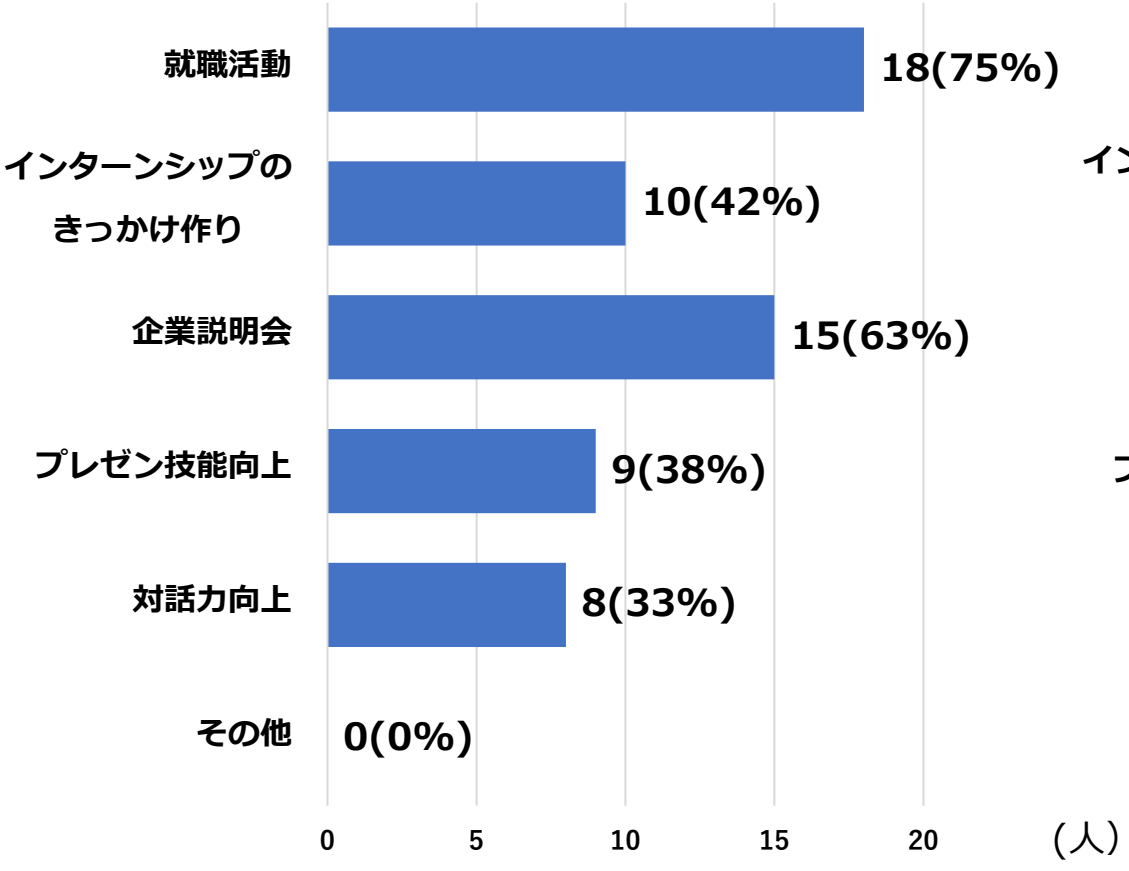
２４件の回答



【博士人材】PhDリクルートフォーラムのイメージについて

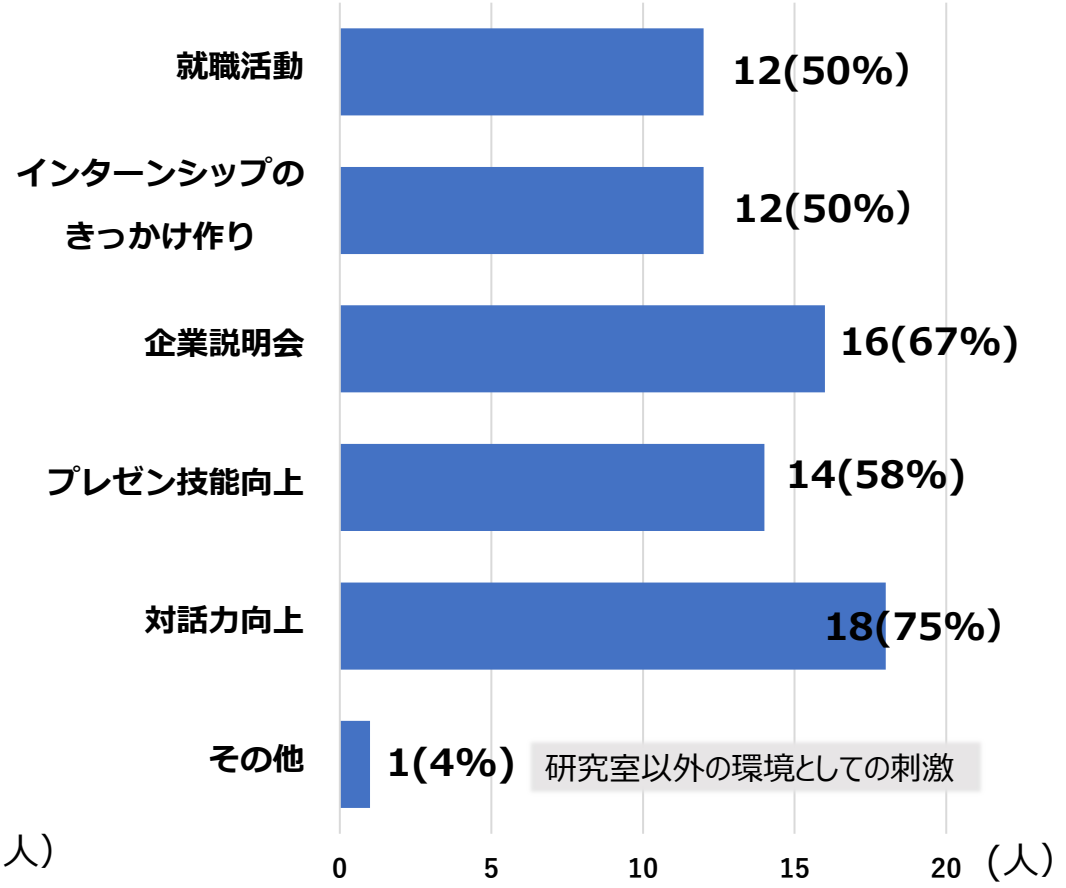
■フォーラム参加前（複数回答可）

24件の回答



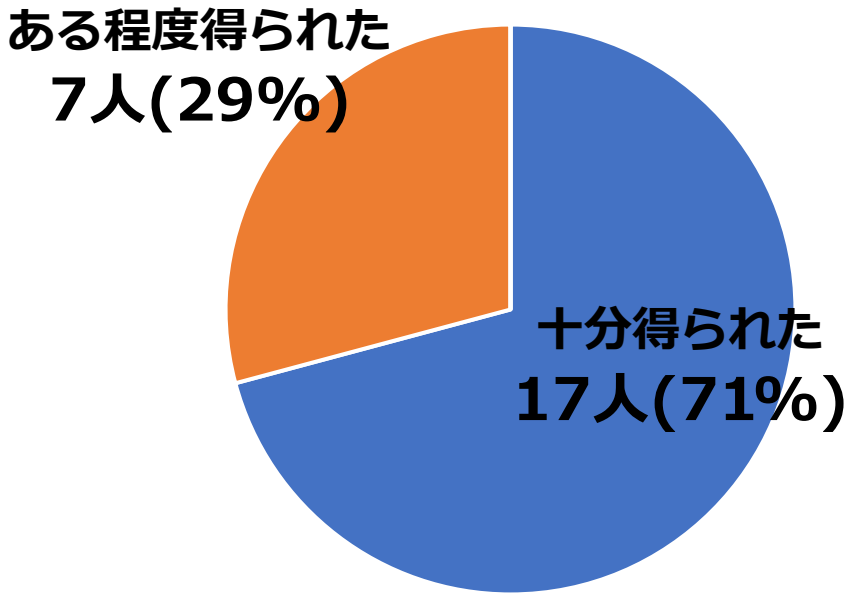
■フォーラム参加後（複数回答可）

24件の回答

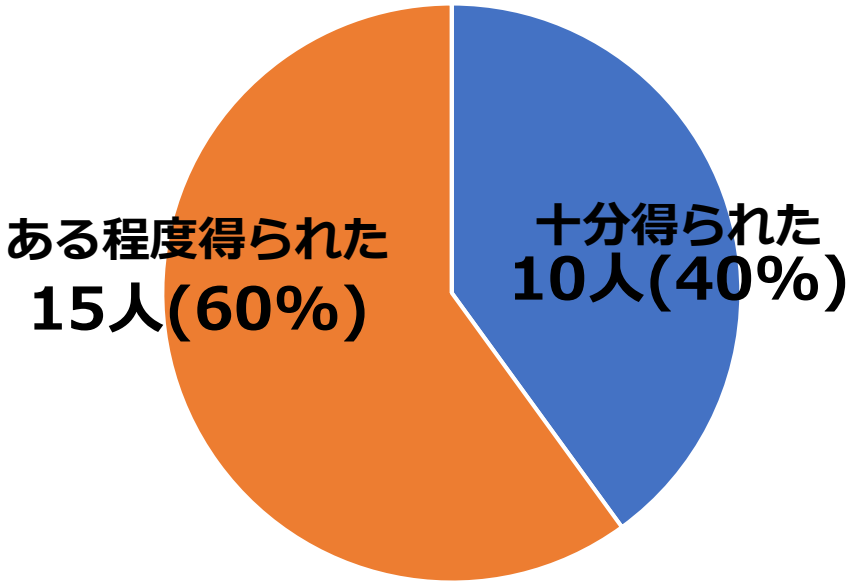


【博士・企業共通】フォーラムを通して有益な情報を得られましたか

■博士学生

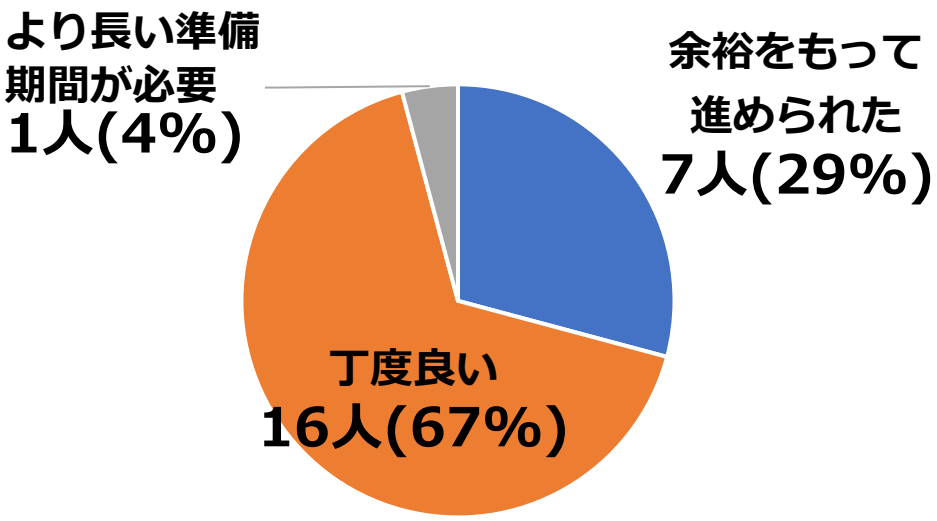


■企業

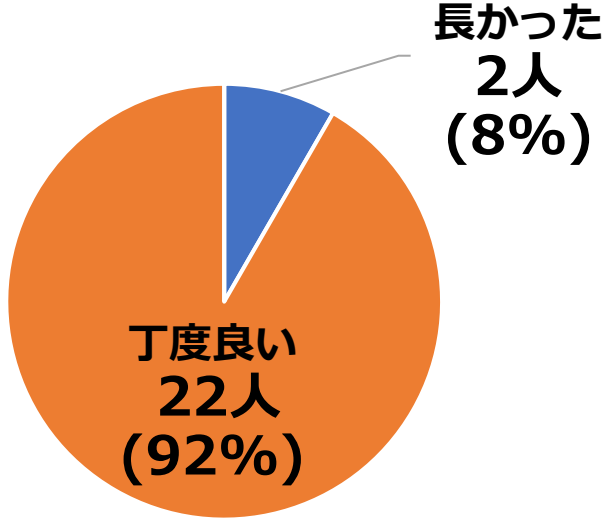


【博士人材】

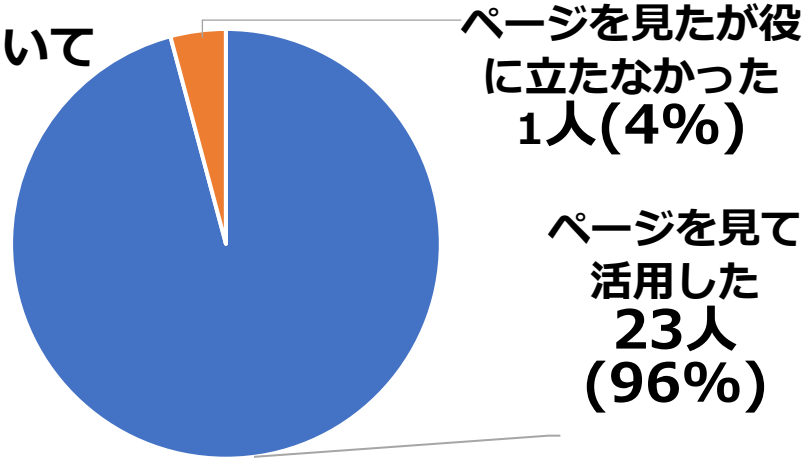
■事前準備期間について



■当日のスケジュールについて

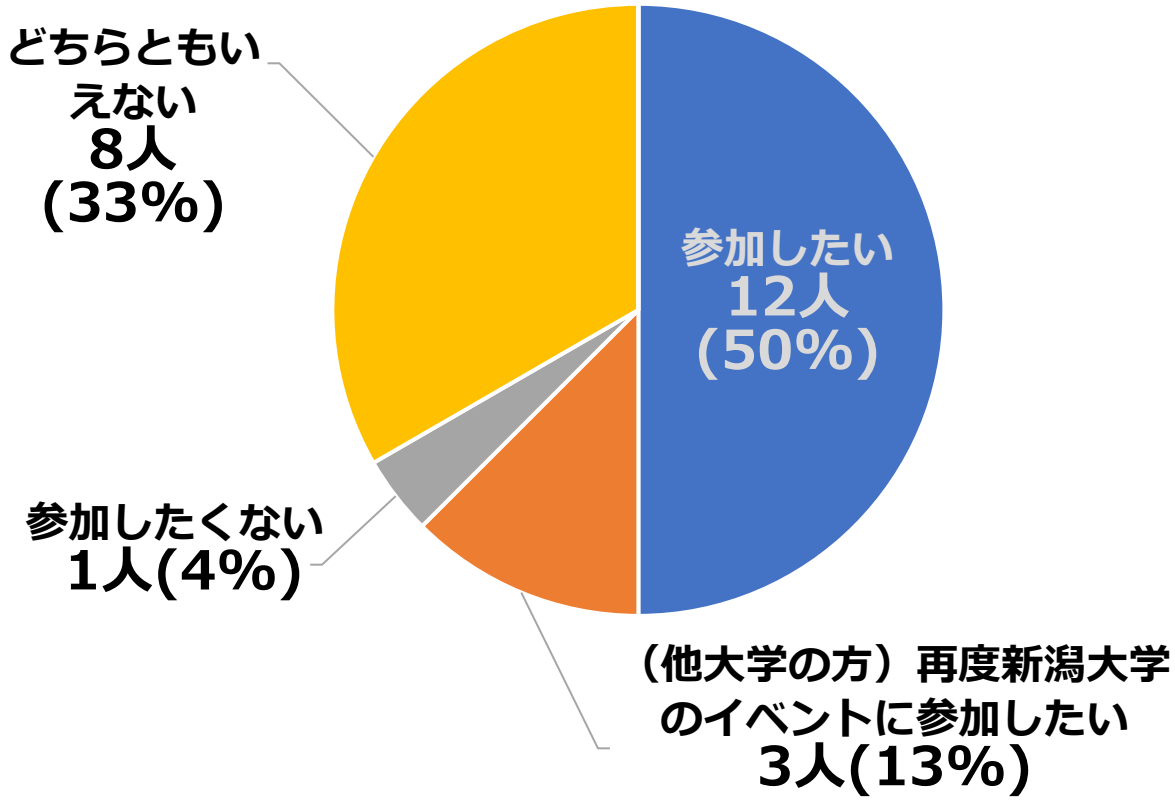


■参加企業情報ページの利用について



【博士人材】

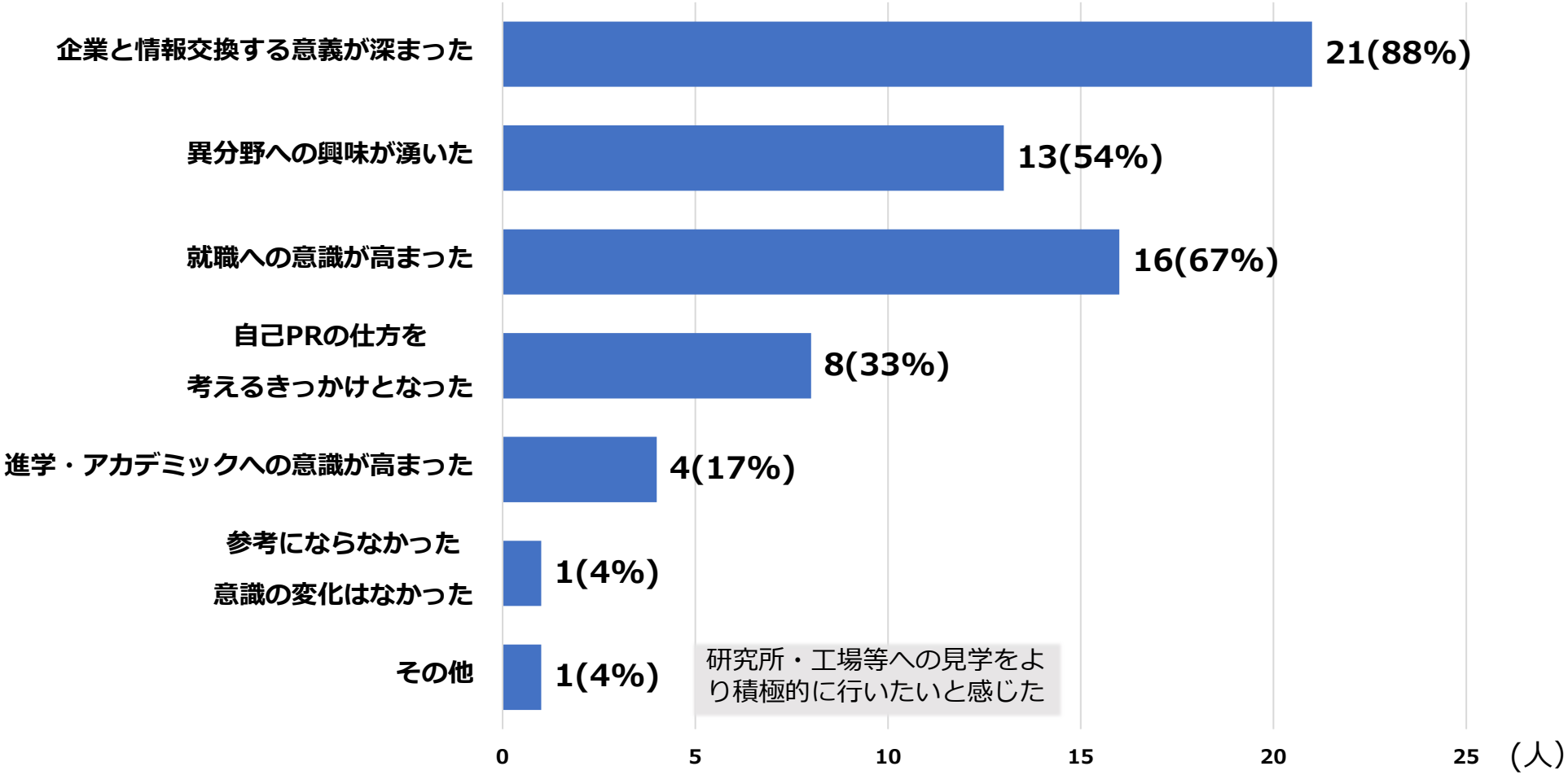
博士人材育成コンソーシアムの取り組みで、所属大学以外で実施している本イベントのようなマッチングイベントについても参加が可能です。他大学のイベントにも参加したいですか？



【博士人材】意識の変化について

PhDリクルートフォーラムを通して、意識の変化はありましたか？（複数回答可）

24件の回答



真の強さを学ぶ。
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

【博士人材】

PhDリクルートフォーラムに参加をして新たな気づきはありましたか？

・異分野の企業に関しても積極的に話しを聞いて行きたいと感じた。

・発表練習を含めて異分野の方への話し方を学ぶことができました。

・企業からの需要を知ることができた。

・企業や研究所の方々が、どんなスキル・専門性を求めているのかを知ることができました。
また、専門の分野は違っていたとしても、研究の手法（例えばデータ解析ができるなど）のスキルが活かせるということを学びました。

・異分野の方から積極的に質問をいただけて、新たな研究課題等の発見に繋がった。

・自分の専門分野は興味を持たれづらいと考えていましたが、意外にも興味を持ってポスター発表を聞きにきてくれる企業の方が多かったことです。「PRシートを見て一番面白いと思った」とコメントしてくださった方もおり、自身の研究と、それを人に伝える意義についても再確認することができました。

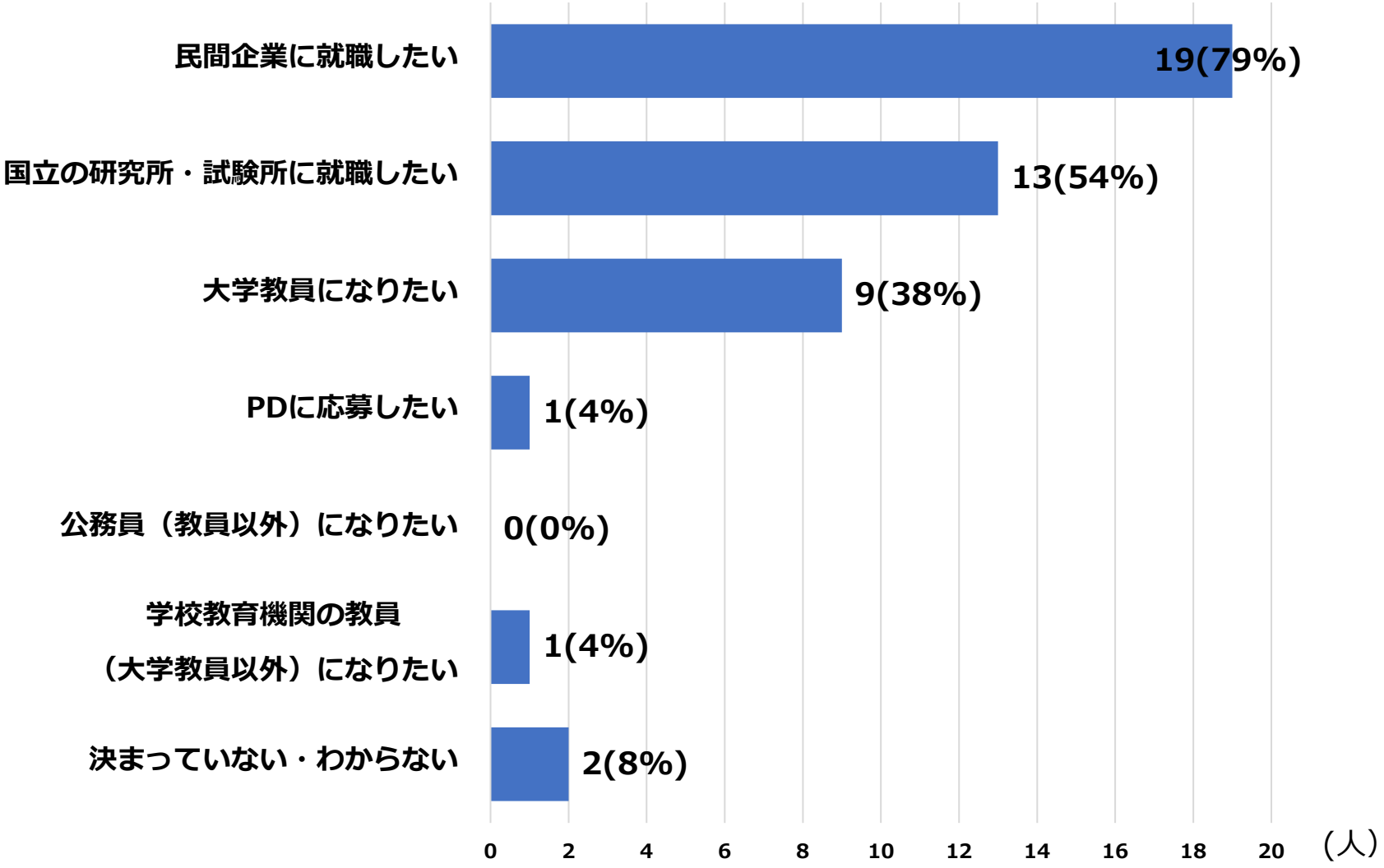
・今よりもお客様像を具体的に見据えた研究をしてみたい気持ちが強まった。
・企業のみまさまが、会社で定めた日程以外の研究所見学を快く引き受けてくださる/検討してくださることに驚いた。

・特に進路へ関する意識が高まった．同じ業種で複数の企業が参加していたが、それぞれ雰囲気がかなり違うと考え、有意義だった。

【博士人材】

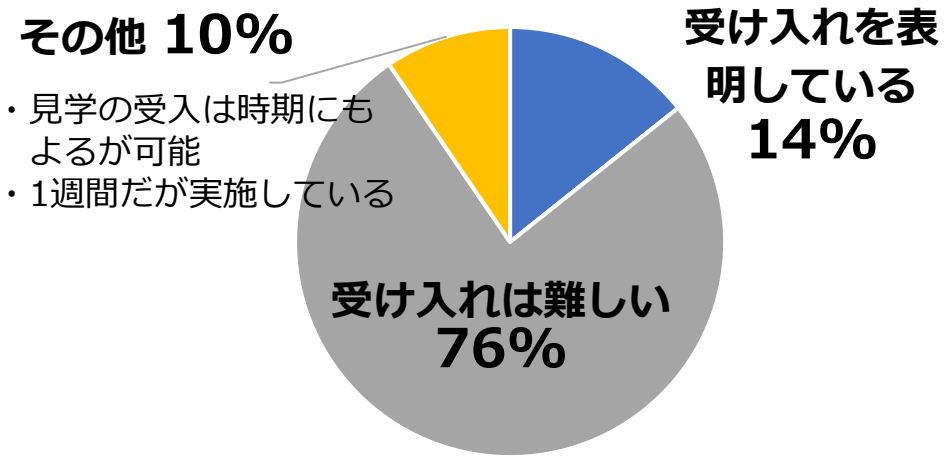
あなたは今後のキャリアパスをどのように考えていますか？（複数回答可）

24件の回答

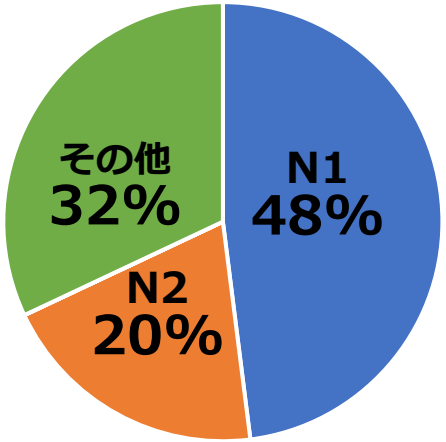


【企業】

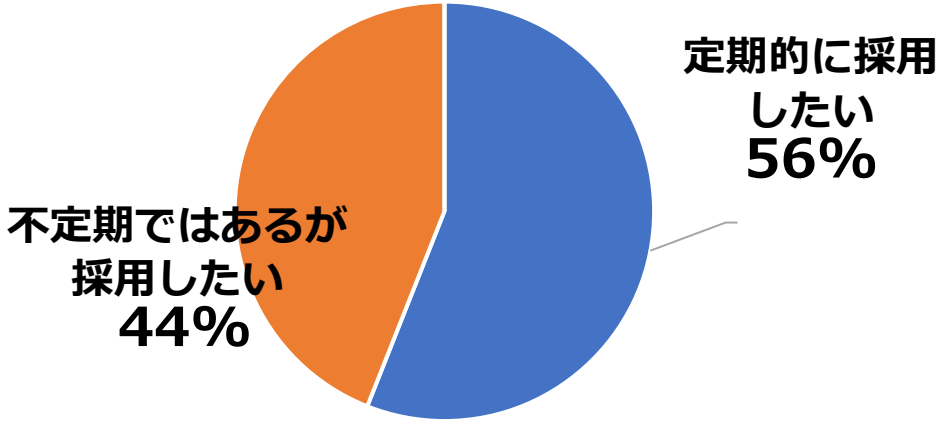
■ＤＣ・ＰＤのインターンシップ（１ヶ月程度）について



■外国人博士人材が応募する際に必要な日本語レベル



■DC・PDの採用について



【その他】

- 現時点での受け入れは難しい
- 日本語レベル不問
- 応募コースにより異なる。一般募集はN1レベルを必要とするが、少人数の留学生採用枠としてはN4程度でも可としている。

真の強さを学ぶ。
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

【博士人材】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望など記入ください。

・企業の方と直に博士就職に関して話しをすることができる良い機会となった。

・とても有意義な時間になりました。ありがとうございました。

・企業トークの時間をもう少し長くして欲しい。

・企業トークの長さ、プログラムの順番など素晴らしい内容でした。貴重な機会をいただきありがとうございました。

・全体を見ると、おおよそ中央にあるポスター周辺に企業の方が集まっていて、端のほうは少し人が少なかった印象に見えました。せっかくの機会でもあるので、ポスターを設置する場所を少し改善していただけると大変うれしいです。

・ポスター発表も質疑の応答をしていると時間がかかってしまうので、もう少しポスター発表の時間が長くても良かったのかなと思いました。

・反省会(9/19開催)の正式な日時はもう少し早く(開催1か月前程度には)アナウンスしていただきたかった。

・全プログラムの後，任意でいいので懇親会を設定して欲しかった.

真の強さを学ぶ。
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

【企業】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望などを記入ください①

・よくオーガナイズされてプログラムもよかったです。
・企業トークとポスターセッションは例年通り逆の方が良いのではないかと感じました。
・他博士イベントは100人規模の学生を集めているところもあり、近隣大学も合わせ規模を拡大していただけると幸いです。
・3年ぶりに参加させていただきましたが、学生との接点が改善されていると感じました。
・企業トークの時間等ちょうど良かったです．一点，私自身少しオーバーしてしまった点反省しているのですが，時間になったら強制終了しても良いのかなと思います．正しく時間を守っている企業が損をしてしまうのは少し違うように思いますので．
・個別交流セッションの各回の間は5分ほど空けていただけるとありがたいです。それ以外は適切だったのではないかと思います
・欲を言えば、ポスター発表の投票についてコメントを書く時間がもう少し欲しかったです。
・ご馳走いただいている立場で申し訳ないですが、双方がいろいろな方と話できるので食事は立食の方が良かったかもしれないですね。
・採用につなげたいからこそ、「26卒」の学生をメインにしていただけると良いと思った。
・企業トークは３分がよいかと思いました
・博士人材が一堂に会する貴重な機会だと思います。
・文理によらないため、分野が広すぎるのがやや難点な気もしますが、かえって広く接することができるのも利点かとも思いました。
・全プログラム終了後に情報交換会等の時間を設けていただいた方が、興味を持っていただいた学生とより深い交流ができるような気がしました。その分ランチの時間は短縮してよいのではと感じました。

真の強さを学ぶ。
新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

【企業】

全体を通してPhDリクルートフォーラムについてのご意見、ご要望などを記入ください②

・昨年も参加させて頂いたので、今回のショートトークの持ち時間2分というのは短く感じましたが、その後に個別面談があり、最後の2ターンは自分で行きたいところを選べることも考えると、ショートトークは短時間で良かったように思いました。ただ、企業紹介のための時間としては短いので、例えば、企業出席者自己紹介とかにして全員一言挨拶する、とかでも良いかなと思いました。

・ポスターセッションを最初にしたのは良かったと思います。学生の皆さんはリラックスして午後の部に入り易かったのではと思います。

・ポスターセッションは時間的にどうしても全員と話すことは出来ない中での投票が必要という点が、順位を付けられない学生に対して申し訳なく思います。例えば、ベストポスターのような全員を同じ土俵で評価する軸も一つあると良いかと思いました。

・今回情報交換会はありませんでしたが気になりませんでした。今回のように閉会後30分程場所を開放して頂いて、後片付けしながら最後に話をするチャンスがあれば十分と思いました。
・知名度のない会社としては企業トークは5分程度あれば嬉しいと思いましたが、すでに訪問企業はある程度決まっていますし、別途ポスターセッション時の会話を重視するということであれば、逆に不要かもしれません。
・個別交流の時間がしっかりとられていて良かったと思う。一方で、後半2回は、自由選択となって来てくれる人が増えたため、（うれしいことだが）個別という感じが薄れてしまったように思う。
・初めてだと情報交換会がどのようなことをするのかがさっぱり分からなかった。企業側が質問を受けて、アピールするのか、学生と研究についてさらに深堀するのか、それ以外の人物像を雑談を交えながら見抜く時間なのか、全社統一してくれた方が良いかなと思いました。
・昼食の席次の関係から、学生と会話することがあまりできず、非常に残念でした。

【企業】今後、博士人材へ期待すること、ご要望などをご記入ください①

・研究機関なので分野によっては筆頭論文のある程度の数が必要です。

・ミスマッチを防ぐため応募までに見学を推奨します

・専門分野が二つ以上あったらなお良い

・文系博士の皆さんにも積極的にご参加いただきたいです。

・既に新卒採用は博士に限定してることもあり、今後とも優秀な博士の輩出に期待しています。

・タイプにも拠りますが、０→１を生み出せる博士人材を採用していきたく期待しています。

・民間企業はビジネスの側面が出てきてはしまいますが，その中でも物事を突き詰めて考え，本質をつかむことがやはり必要で，それは博士3年間で鍛えられる部分だと考えています.

・狭い領域でもいいので、一つの問題・テーマについて深みをもって突き抜けられる人材であることが博士人材の特徴かと思います。引き続き深みを持ちつつ、同時に社会に対して何をどう成果としてアピールできるかを考え続けて研究に取り組んでいただきたいです

・一部学生さんには直接お伝えした内容でもありますが、弊社としてはハードスキルよりもソフトスキルに期待をしております。（留学生に多い印象ですが）例えば学士・修士・博士で研究テーマが大きく変わっており、また長期のインターンシップや就業経験などで異なる分野の研究に従事していた等の幅広い経験があればハードスキルそのものもより魅力的ですが、いずれにせよ多くの学生は入社後に大なり小なりテーマの変更を余儀なくされます。そのため持っているスキルそのものよりも、（そのスキルを得るに至った、或いはその過程の中で身に着けた）研究へのアプローチ方法や情熱、研究が好き・楽しいという気持ちが大切だと考えております。そういった情熱が、個人のスキルと会社の技術間でのシナジーを生むものと考えており、また入社後の継続的な成長にも繋がるものと考えております。加えて、研究室内での後輩指導等で発揮されたリーダーシップや人間力のようなものにも期待したいです。

【企業】今後、博士人材へ期待すること、ご要望などをご記入ください②

・修士以上の専門性が求められるからこそ研究分野に関する知識量・研究力を重視したい。

・博士の持つ「難しい課題と向き合い、腰を据えて取り組む力」は、どの領域に進んでも通用すると思いますので、自分の可能性を信じて頑張ってほしいです。

・弊社はすこし特殊かもしれませんが、「博士だから」と特別視はしていません。まずはご自身の専門分野を磨いていただき、そのうえで就職先を選ぶ際にはその他の条件も見つつ、また再度学びなおす気持ちを持っていただけると嬉しく思います。(もちろんご自身の専門分野に直結することがベストであるとは思いますが)

・自分の研究をしっかりと行い、強みを持つこと。

・即戦力であることは間違いなく、研究周辺のスキルや知識、さらには後輩を指導する研究マネージメント能力も大事です。また、大学の先生から与えられたテーマをきっかけに自分なりにどう広げて新しい分野（研究）にもチャレンジしているのかなども期待しています。